

第39回全国選抜高校テニス大会  
出場校一覧(男子)

2017/1/30

地区	県名	出場校
北海道 (2)	北海道	①札幌藻岩【36回目/2年ぶり】②札幌日大【17回目/2年連続】
東北 (3)	青森	③岩手【16回目/5年連続】
	岩手	②東北学院【6回目/2年連続】
	宮城	
	秋田	①日大山形【11回目/5年連続】
関東 (12)	山形	
	福島	
	茨城	
	栃木	⑩文星芸大附【4回目/2年連続】⑪足利工大附【17回目/2年ぶり】
	群馬	⑫共愛学園【3回目/2年ぶり】
	埼玉	④浦和学院【27回目/2年ぶり】⑧川越東【7回目/6年連続】
	千葉	①秀明八千代【8回目/5年連続】③東京学館浦安【16回目/14年連続】
	東京	⑤東海大学菅生【15回目/2年ぶり】⑥早稲田実業【17回目/5年ぶり】
北信越 (4)	神奈川	②湘南工科【28回目/2年連続】⑦慶應義塾【14回目/5年ぶり】
	山梨	⑨駿台甲府【2回目/2年連続】
	新潟	②東京学館新潟【13回目/3年連続】
	富山	
東海 (5)	石川	④金沢【7回目/3年ぶり】
	福井	③北陸【7回目/3年ぶり】
	長野	①松商学園【24回目/19年連続】
近畿 (7)	静岡	⑤静岡市立【8回目/2年連続】
	愛知	①名経大市邨【12回目/12年連続】②名古屋【29回目/24年連続】
	岐阜	④岐阜卓商【18回目/7年連続】
	三重	③四日市工【36回目/14年連続】
中国 (4)	滋賀	⑦光泉【11回目/9年連続】
	京都	③東山【26回目/14年連続】④京都外大西【6回目/6年連続】
	大阪	②清風【39回目/39年連続】
	兵庫	①相生学院【8回目/8年連続】⑥甲南【15回目/2年ぶり】
	奈良	⑤平城【3回目/12年ぶり】
四国 (3)	和歌山	
	鳥取	
	島根	
九州 (8)	岡山	①岡山理大附【26回目/7年連続】②岡山学芸館【7回目/2年連続】
	広島	③崇徳【3回目/2年連続】④広島なぎさ【初出場】
	山口	
	徳島	②城南【10回目/5年連続】
九州 (8)	香川	①高松北【23回目/2年連続】
	愛媛	③新田【20回目/4年連続】
	高知	
	福岡	①柳川【38回目/8年連続】⑥筑陽学園【2回目/4年ぶり】
	佐賀	
	長崎	②海星【23回目/6年連続】
	熊本	⑨熊本工【2回目/31年ぶり】
大分	③大分舞鶴【17回目/11年連続】	
宮崎	⑦宮崎大宮【6回目/23年ぶり】	
鹿児島	④鳳凰【17回目/15年連続】	
沖縄	⑤沖縄尚学【8回目/3年ぶり】	
補欠校		東洋大牛久(茨城)
		出場校合計
		48校

○内の数字は地区大会順位  
地区の( )内の数は出場校数

シード校	秀明八千代(千葉)、名経大市邨(愛知)、相生学院(兵庫)、高松北(香川)
選手宣誓校	熊本工(熊本)

第39回全国選抜高校テニス大会  
出場校一覧(女子)

2017/1/30

地区	県名	出場校
北海道 (2)	北海道	①札幌清田【33回目/4年連続】②立命館慶祥【初出場】
東北 (4)	青森	②盛岡第一【5回目/5年ぶり】
	岩手	
	宮城	③聖霊短大付【18回目/3年ぶり】
	秋田	④日大山形【6回目/2年ぶり】
関東 (11)	山形	①磐城桜が丘【7回目/3年連続】
	福島	⑨東洋大牛久【4回目/3年連続】
	茨城	
	栃木	⑪共愛学園【3回目/3年ぶり】
	群馬	①山村学園【7回目/3年連続】⑥浦和学院【28回目/6年連続】
	埼玉	④東京学館浦安【8回目/2年連続】⑩東京学館船橋【4回目/2年連続】
	千葉	③大成【2回目/6年ぶり】⑦東京【初出場】
東京	②白鷗女【4回目/4年連続】⑤湘南工科【21回目/2年ぶり】	
北信越 (4)	神奈川	⑧山梨学院【4回目/2年連続】
	山梨	④新潟第一【6回目/4年連続】
	新潟	③富山国際大付【24回目/11年連続】
	富山	
東海 (5)	石川	②仁愛女【37回目/37年連続】
	福井	①松商学園【25回目/23年連続】
	長野	④静岡市立【23回目/4年連続】
	静岡	①愛知啓成【4回目/4年連続】②椋山女学園【23回目/2年連続】
近畿 (8)	愛知	⑤県岐阜商【22回目/4年ぶり】
	岐阜	③四日市商【14回目/2年連続】
	三重	
	滋賀	③京都外大西【9回目/9年連続】⑥京都両洋【初出場】
	京都	②大商学園【6回目/4年連続】⑦大商大塚【2回目/2年連続】
中国 (4)	大阪	①相生学院【5回目/5年連続】⑤啓明学院【初出場】
	兵庫	④奈良育英【初出場】⑧奈良学園【初出場】
	奈良	
	和歌山	
四国 (3)	鳥取	
	島根	②岡山学芸館【16回目/13年連続】③倉敷鷺羽【初出場】
	岡山	④広陵【2回目/2年ぶり】
	広島	①野田学園【8回目/7年連続】
九州 (7)	山口	①高松北【22回目/6年連続】
	徳島	②済美【16回目/2年ぶり】③松山西【2回目/3年ぶり】
	香川	
	愛媛	①柳川【38回目/2年連続】④折尾愛真【15回目/2年連続】
	高知	
	福岡	⑨八代白百合【2回目/6年ぶり】
佐賀	⑤大分上野丘【初出場】	
長崎		
熊本	②鳳凰【24回目/22年連続】⑥鹿児島中央【2回目/4年ぶり】	
大分	③沖縄尚学【6回目/4年連続】	
宮崎		
鹿児島		
沖縄		
補欠校		函館白百合学園(北海道)
		出場校合計
		48校

○内の数字は地区大会順位  
地区の( )内の数は出場校数

シード校	山村学園(埼玉)、愛知啓成(愛知)、相生学院(兵庫)、柳川(福岡)
選手宣誓校	八代白百合(熊本)

## 第39回全国選抜高校テニス大会 選考委員会枠選出について

	校名	都道府県名	選考理由
男子	静岡市立高等学校	静岡	今年、創立77年を迎えた伝統校。部活動の時間が19時までのため、各部員が、創意工夫し、短時間での集中した練習を心がける。個々の部員が自らの課題を設定、それを互いに共有し、お互いに助け合いながら切磋琢磨して成長しているチームです。
	広島なぎさ高等学校	広島	昨年度、開校50周年を迎えた男女共学の私立中高一貫校です。部員31名全員が自宅生であり、練習メニューを自分たちで考えながら短時間練習のなかで全国大会初出場が実現することは多くの高校生の目標となる。
	熊本工業高等学校	熊本	今年度で、118年目を迎える伝統校。昨年4月の熊本大地震では、全国的にも例のない震災に見舞われ、多くの生徒が避難生活を強いられるなか、県大会で優勝し地区大会でも立派な成績を収めている。さらに今年は、出場することで被災された方々に大きな勇気を与えたい。
女子	日本大学山形高等学校	山形	今年度創部40周年を迎え、全国大会出場に向け練習に励んでいる中、キャプテンが登校中交通事故により重傷を負った。部員がキャプテンの回復と復帰を願いチームの絆を強固なものにし、困難に立ち向かい復帰したキャプテンを中心に全国大会に向けて練習に励んでいる。
	奈良学園高等学校	奈良	1979年創立の中高一貫の私立校です。限られた環境のなかで部員8名全員が創意工夫し、県大会・地区大会を勝ち抜いてきたチームです。また、部員の多くは、有名国公立大進学を目指し、数ある部活動のなかでも文武両道を最も体現しているチームです。
	八代白百合学園高等学校	熊本	創部28年の部。熊本工同様、昨年4月の熊本大地震では、震度7を2回観測するという前例のない震災に見舞われ、多くの生徒が避難生活を経験し、ようやく日常を取り戻しテニスに集中できる環境ができてきました。全国からの多くの支援に感謝しての出場となります。